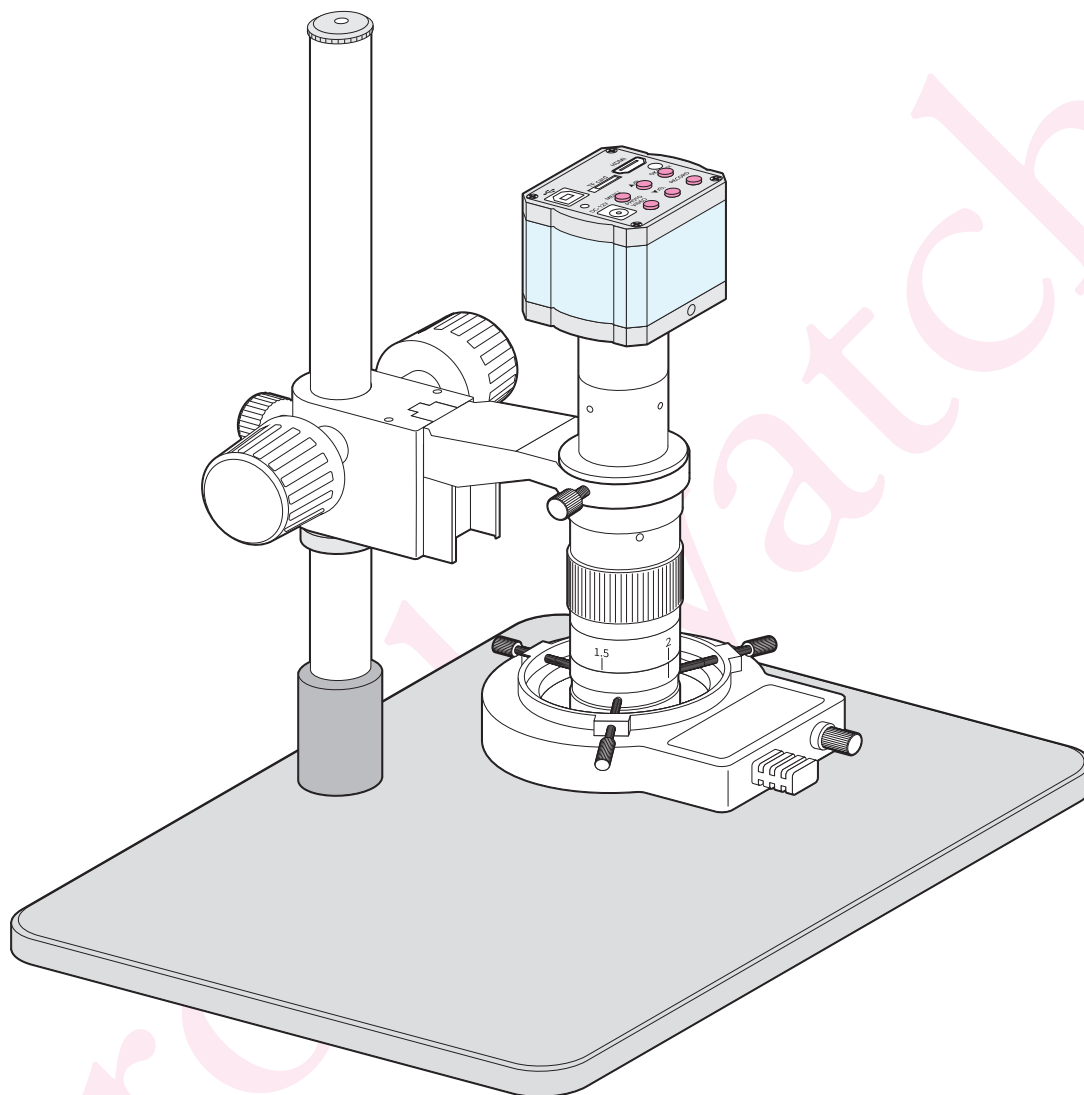


マイクロスコープ

型番: MICRO-SC-4K

取扱説明書



このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みください。

※イラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

※製品の仕様は予告無く変更される場合があります。

※セット内容により、本書記載の仕様と一部異なる場合があります。

目次

1. 安全上のご注意	2
2. 同梱品の確認	3
3. 各部の名称と機能	4
4. 組み立て方法	6
5. PCとの接続方法	9
6. マイクロスコープの起動と終了	10
7. 倍率変更・ピントの操作方法	11
8. 各種操作と設定	13
8-1. 画質・システム言語・静止画/動画の解像度の設定	13
8-2. 静止画・動画の記録と再生	14
8-3. 画面のロック	15
8-4. ラインの表示	15
8-5. その他の機能	17
8-6. オプションレンズ	17
9. お手入れ方法	18
10. こんなときは・製品保証書	19

製品仕様

対物レンズ倍率	0.7~4.5倍 (27インチLCD換算36.4~234倍)
最小有効計測単位	0.01mm
C M O S	IMX415. 1/2.8 INCH
HDMI出力解像度	4K/30fps, 1080P/60fps
USB出力解像度	1080P/30fps
サイズ	ステージサイズ:約380×260×25mm 支柱高さ:約340mm
本体重量	約2.95kg(ケーブル類除く)

1 安全上のご注意

この章では、人への危害や財産の損害を防ぐための注意事項を説明しています。本取扱説明書で使用する各マークには下記の意味があります。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険があります。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人的および物的損害が発生する危険があります。

■絵表示の意味



してはいけない禁止の指示です。



実行しなければならない強制の指示です。

警告



異常発生時・故障時はすぐに使用を中止する

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにカメラユニットの電源アダプタをコンセントから抜いてください。



分解や改造をしない

カメラユニット、レンズなどの各部を分解・改造しないでください。火災・感電・けがの原因となります。



水や異物を入れない

機器の内部に水や液体、金属片などの異物が入らないようにしてください。火災や感電の原因となります。



電源アダプタ・ケーブルを正しく取り扱う

電源アダプタに強い衝撃を与えたり、分解したりしないでください。また、ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。



濡れた手で通電部分に触れない

濡れた手で電源アダプタや各ケーブル・端子を抜き差ししないでください。感電の原因となります。

注意



不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。スタンドは重量があるため、落下や転倒により、けがや故障の原因となります。



可動部で指を挟まない

ホルダーの高さ調整や、ピント合わせのダイヤル操作の際、可動部や隙間に指を挟まないようご注意ください。



LEDライトを直視しない

レンズ周囲のLEDライトの光を至近距離で直接見つめないでください。目を痛めるおそれがあります。



高温・多湿の場所を避ける

直射日光の当たる場所や、暖房器具の近く、湿気やほこりの多い場所には設置・保管しないでください。



ケーブル類の配線に注意する

USBケーブルやHDMIケーブル、電源コードに足を引っかかないように配線してください。機器の転倒や落下の原因となります。

使用上のご注意

製品の性能を正しく発揮させ、長くお使いいただくための注意事項です。

付属の電源アダプタをご使用ください。

本製品のカメラユニットは、必ず専用の電源アダプタを使用してください。

LCDの取り扱いはLCDの取扱説明書を参照してください。

セット品のLCDを使用する場合、またLCDを別途ご用意される場合、必ず各製品の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項、正しい使用方法をお守りください。

画質の調整について

観察する対象物の素材や色、周囲の明るさによって、モニターの映像が適切な色合いで表示されない場合があります。ご使用の環境や対象物に合わせて、都度ホワイトバランスや明るさ等の画質調整を行ってください。

寸法測定機能について

寸法測定機能(PC用専用ソフト含む)は、あくまで私的な測定を目的としたものです。公的な取引証明や、厳密な精度が要求される校正・測定用途にはご使用いただけません。

レンズのお手入れについて

対物レンズやカメラユニットのセンサー部分に指で直接触れないでください。汚れやほこりが付着した場合は、市販のプロアーで吹き飛ばすか、レンズ用のクリーニングクロス等で優しく拭き取ってください。

【免責事項】

●本製品を使用したことによる損害や不利益(観察物の損害・データの損失・寸法計測の間違いによる損害)については、弊社では責任を負うことができません。ご了承ください。

2 同梱物の確認

パッケージには本体のほかに、各付属品が同梱されています。

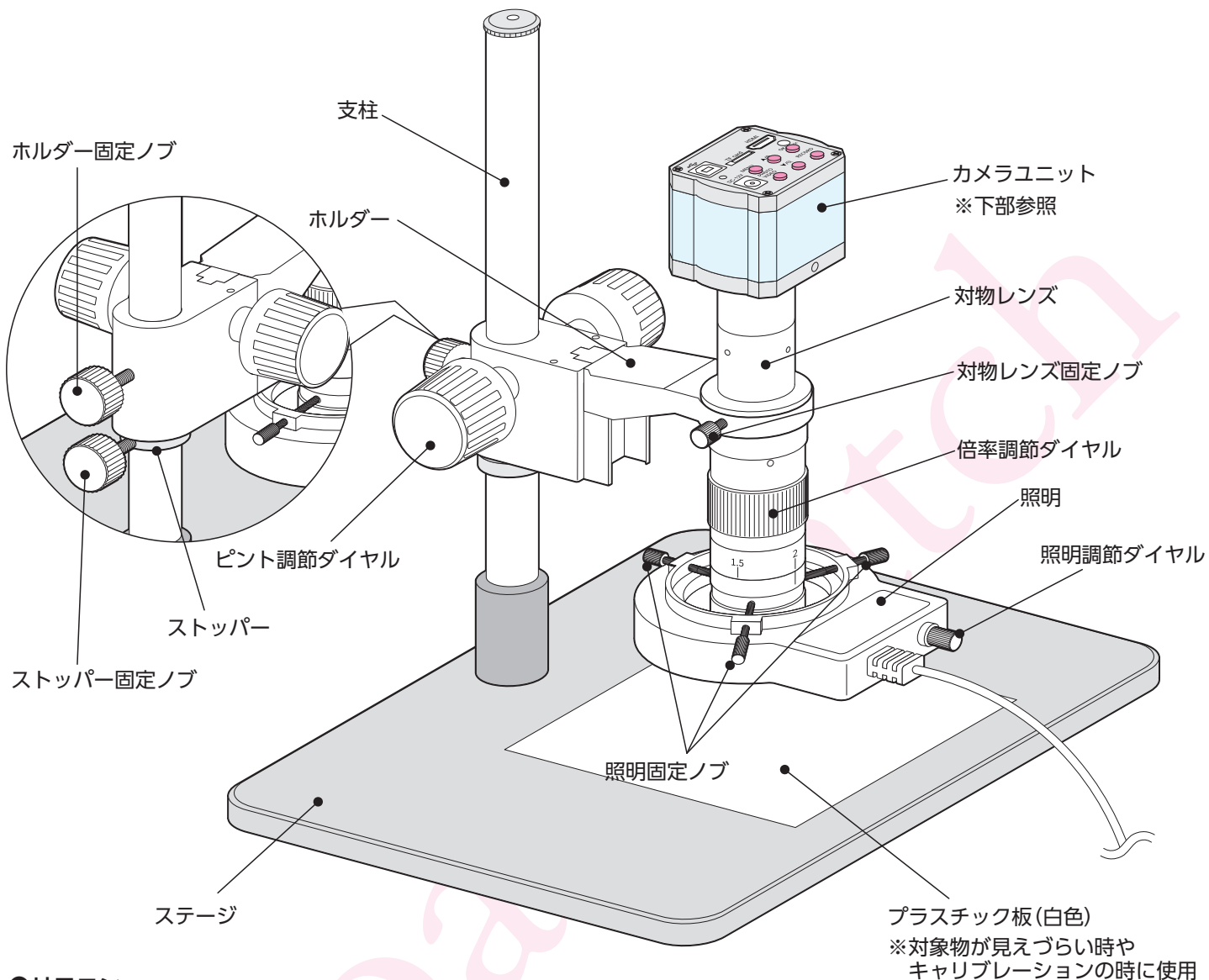
※はじめから破損していたり付属品が不足している場合には、販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。

【数量は各1個です】

マイクロスコープ	●カメラユニット	●対物レンズ	●ホルダー	●ストッパー
	●ステージ		●照明	
ケーブル類	●支柱	●固定ネジ		
	●HDMIケーブル	●USBケーブル (TypeA-TypeB)	●電源アダプタ (カメラ用)	●USB電源アダプタ (照明用)
その他	●スケール		●プラスチック板 (白色)	●リモコン
	●六角レンチ			

3 各部の名称と機能

●マイクロスコープ全体

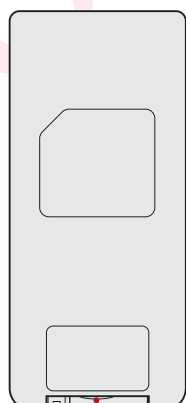


●リモコン

※表面

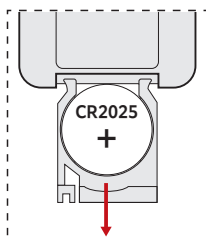
※裏面

ボタン詳細は
次ページ



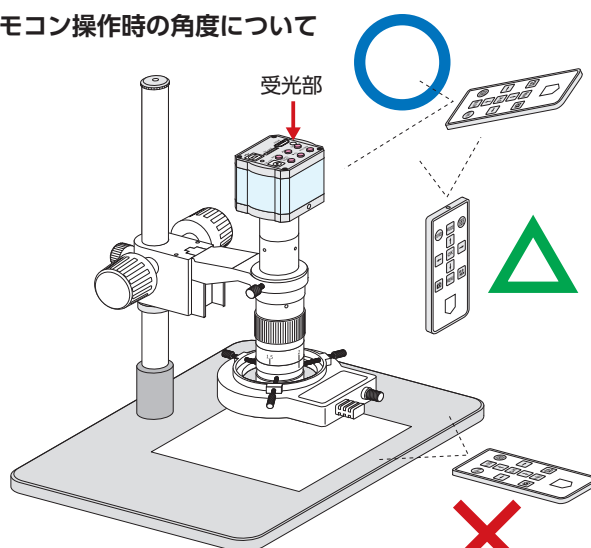
電池交換方法

- 背面に電池ケースがあります。
- ① ツメを内側に引き寄せてケースを引き出します。
 - ② ボタン電池 (CR2025) を新品と交換します。
 - ③ ケースを元に戻します。



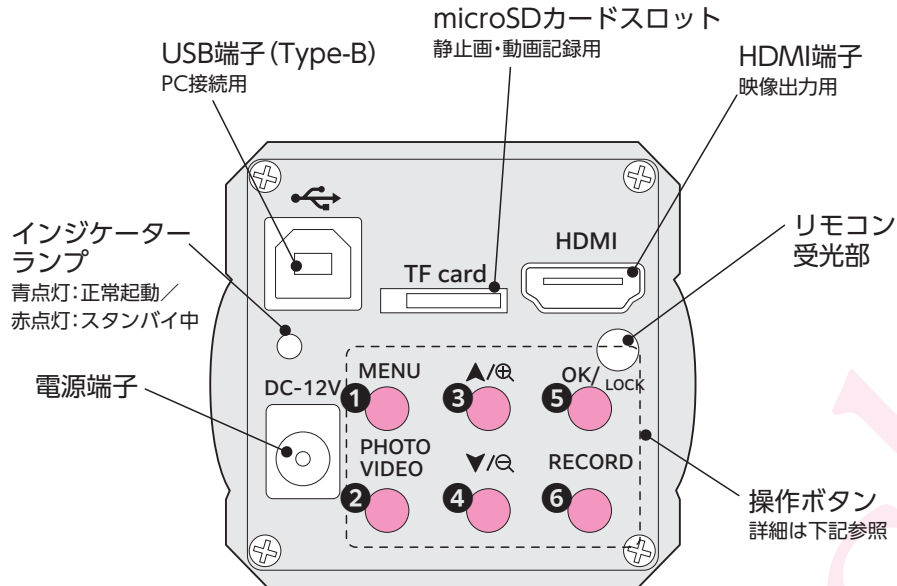
※はじめて使用する場合は、電池ケース部に挟んでいる絶縁シートを引き抜いてください。

リモコン操作時の角度について



リモコン受光部はカメラユニットの上部にあります。リモコンは上からカメラユニットへ向けて操作してください。
天井や壁が白色の場合、赤外線反射により上へ向けても操作が可能です。(室内の構造によります。)

●カメラユニット詳細

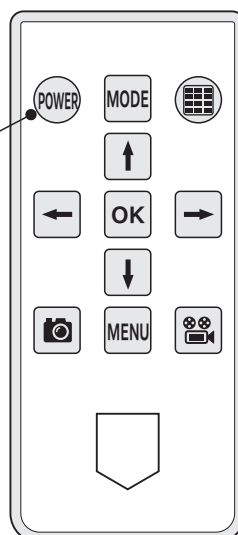


●操作ボタン詳細

	本文中に使用するアイコン	機能説明	対応するリモコンボタン
①		【メニューバー非表示時】メニューバーの表示 【メニューバー表示時】前の画面に戻る	
②		【メニューバー非表示時】記録モードの切り替え 14 ページ 【設定画面表示時】設定値の操作	設定画面 設定値操作
③		【メニューバー非表示時】デジタルズーム (拡大) 【メニューバー表示時】カーソル移動 (上)	
④		【メニューバー非表示時】デジタルズーム (縮小) 【メニューバー表示時】カーソル移動 (下)	
⑤		【メニューバー非表示時】画面ロック※ 15 ページ 【メニューバー表示時】選択項目の決定	
⑥		【メニューバー非表示時】 静止画の記録 / 動画の記録開始と停止 ※記録モードにより異なる 【設定画面表示時】設定値の操作	静止画の記録 (静止画モード時のみ) 動画の記録開始と停止 (動画モード時のみ) 録画モードにより 静止画 / 動画の記録

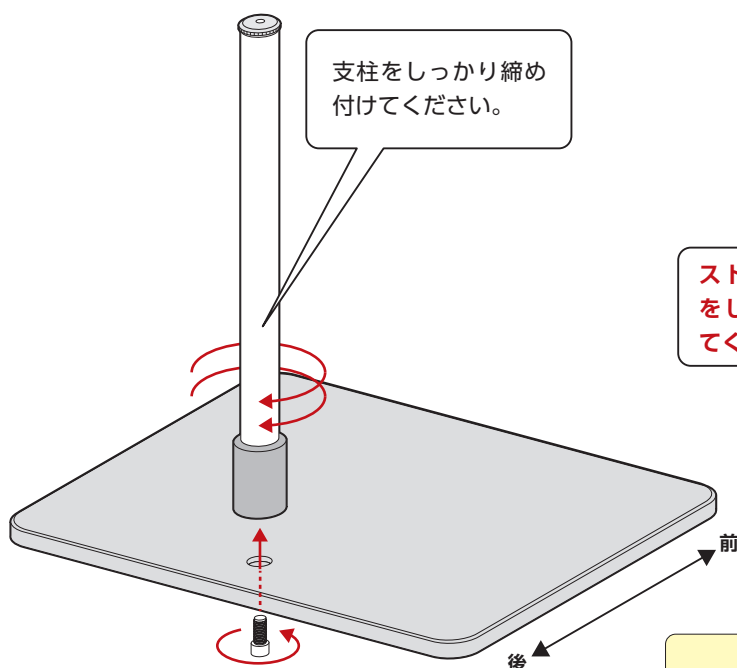
電源スタンバイボタン

起動中 (カメラのインジケータランプが青点灯) に押すと、スタンバイ状態へ以降します。
スタンバイ中はLCD画面表示が消え、カメラのインジケータランプが赤点灯します。
スタンバイ中に押すと、スタンバイから復帰します。



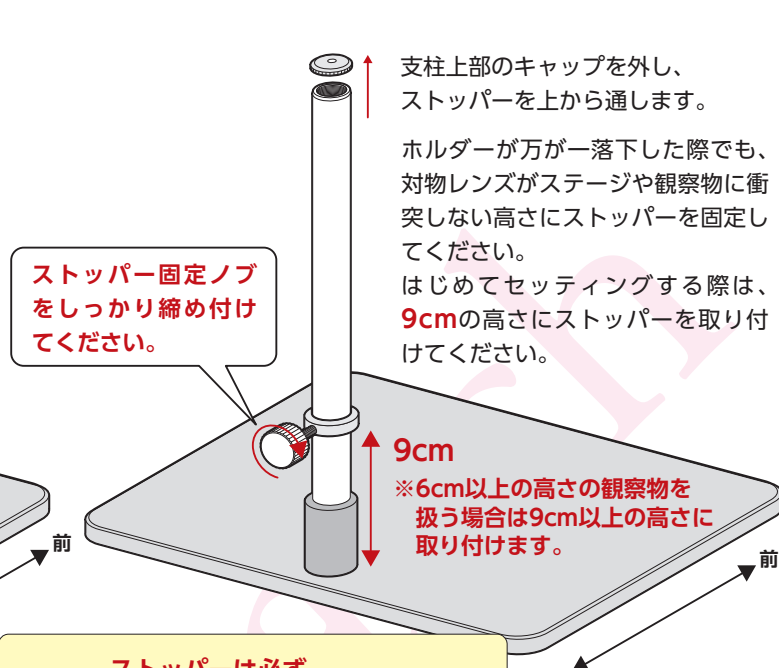
4 組み立て方法

1 ステージに支柱を取り付けます。



ステージの裏面から固定ネジを通し、支柱を取り付けます。

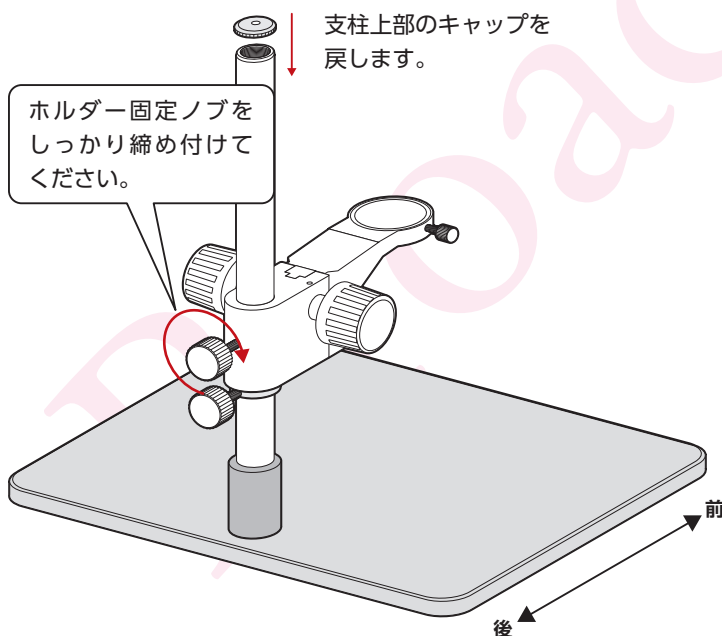
2 ストッパーを取り付けます。



ストッパーは必ず取り付けてください。

対物レンズが観察物やステージに落下し、破損する危険があります。

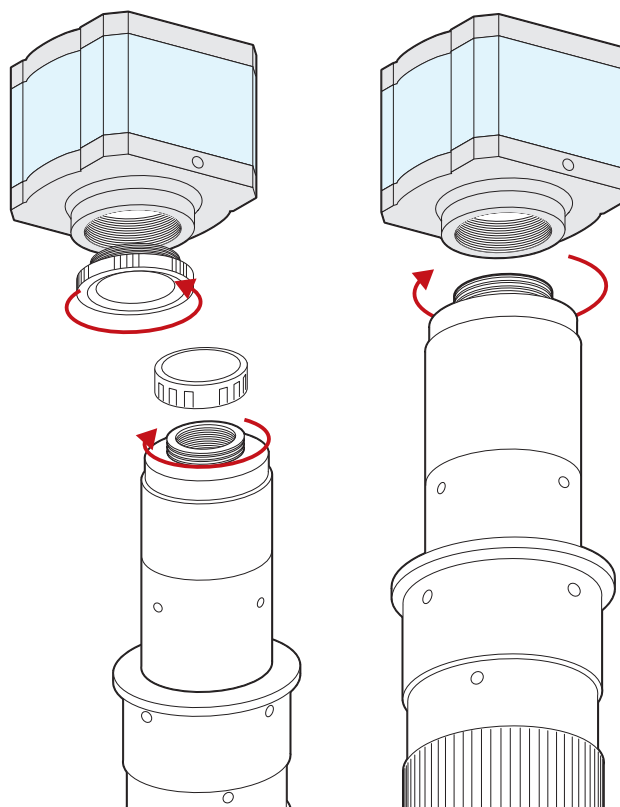
3 支柱にホルダーを取り付けます。



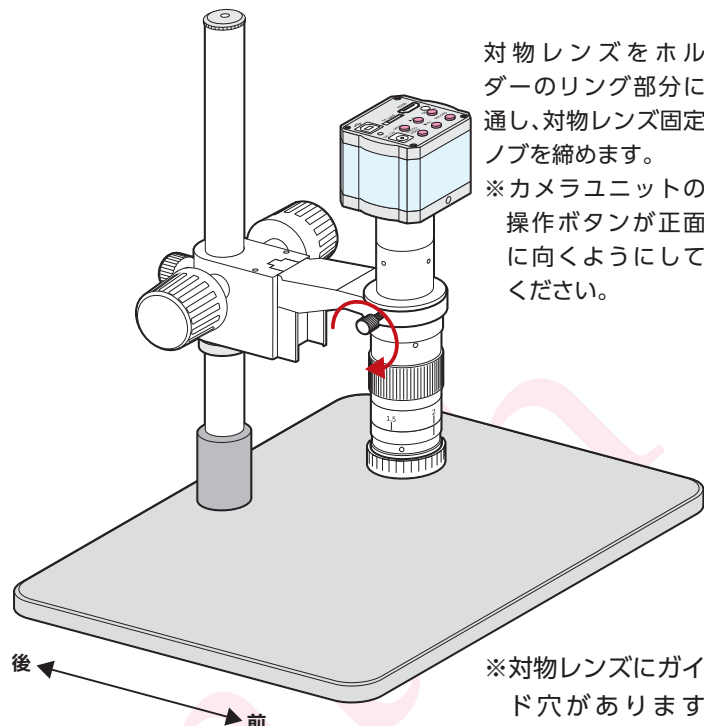
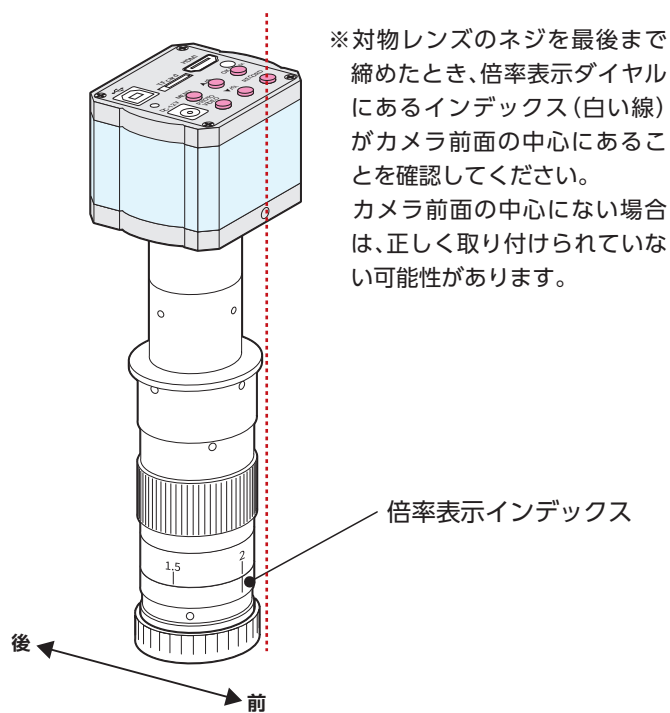
ホルダーの高さは観察物の高さによって変更する必要がありますが、最初の組み立てでは9cmの高さにセットしたストッパーの直上に取り付けてください。(ピント調節ダイヤルがフラットの状態、ステージ上0cmの観察物にほぼピントが合う高さです。)

4 カメラユニットを対物レンズに取り付けます。

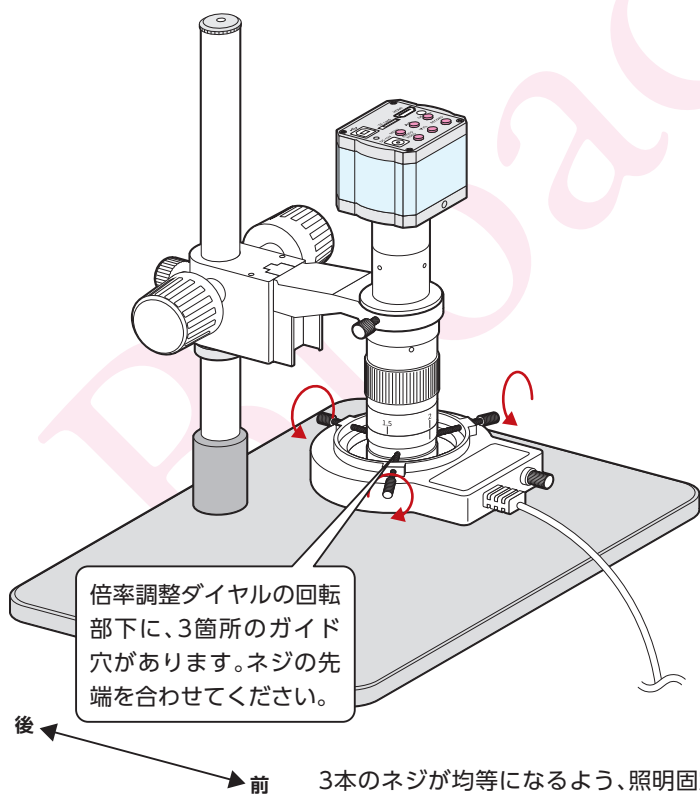
- ①カメラユニット下部のキャップ、対物レンズ上部のキャップを外します。キャップは大切に保管してください。
- ②対物レンズをカメラユニットに取り付けます。ネジ溝を慎重に合わせ、締め付けてください。



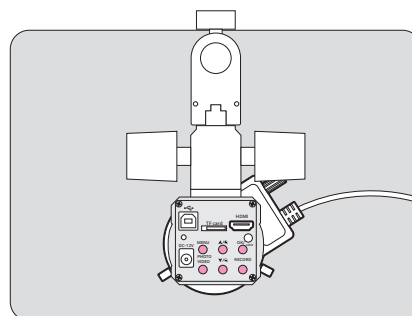
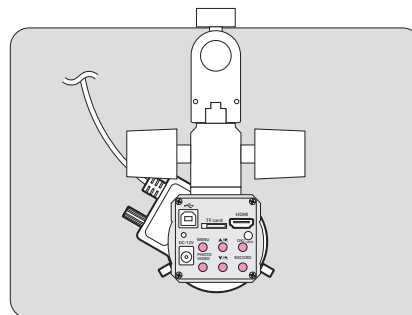
5 対物レンズをホルダーに取り付けます。



6 対物レンズに照明を取り付けます。



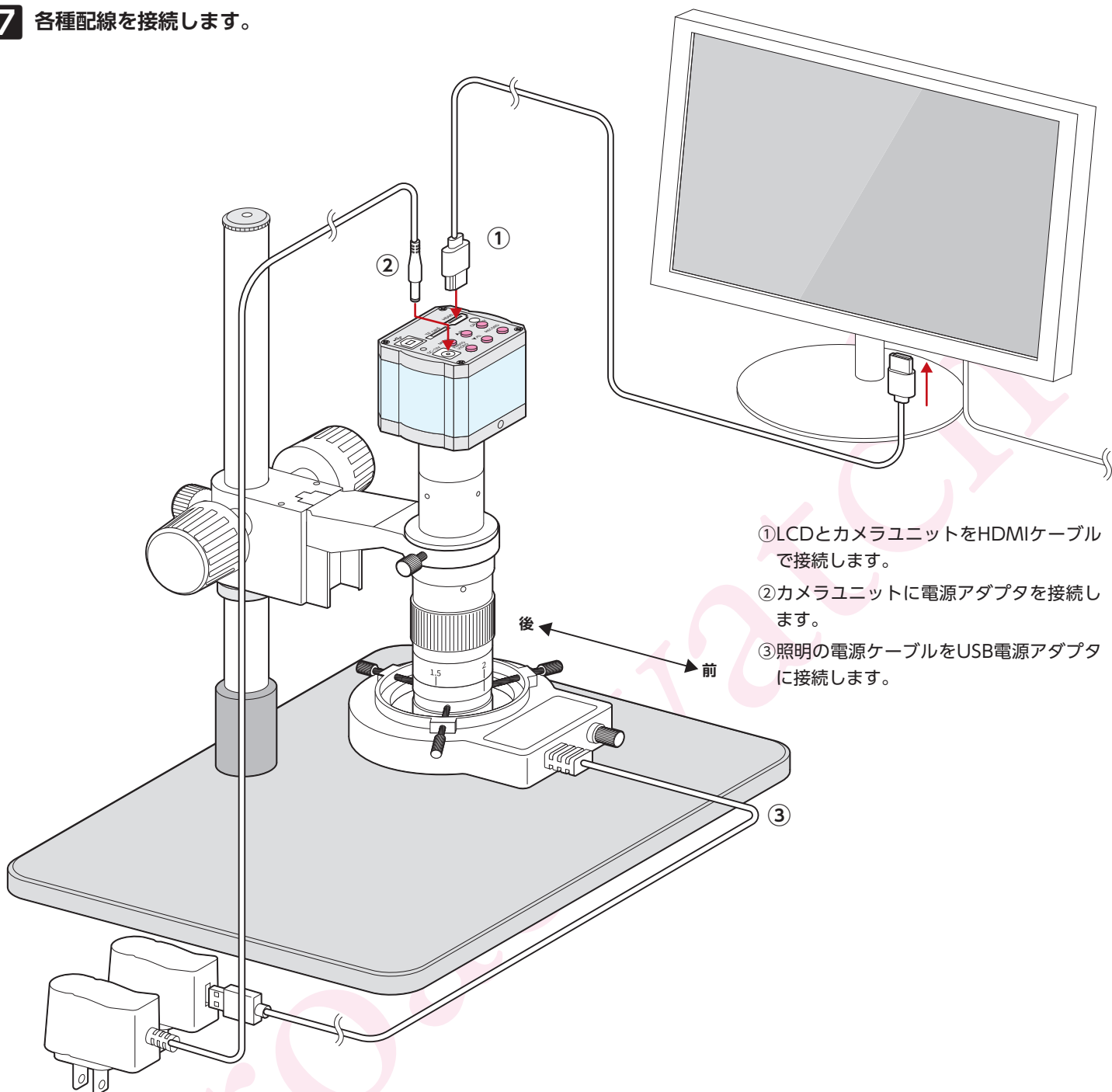
照明の向きは自由にレイアウトできます。配線しやすい向きに合わせてください。



3本のネジが均等になるよう、照明固定ノブを締めてください。

※ステージに対して水平に取り付けてください。

7 各種配線を接続します。



- ①LCDとカメラユニットをHDMIケーブルで接続します。
- ②カメラユニットに電源アダプタを接続します。
- ③照明の電源ケーブルをUSB電源アダプタに接続します。

8 microSDカードをセットします。

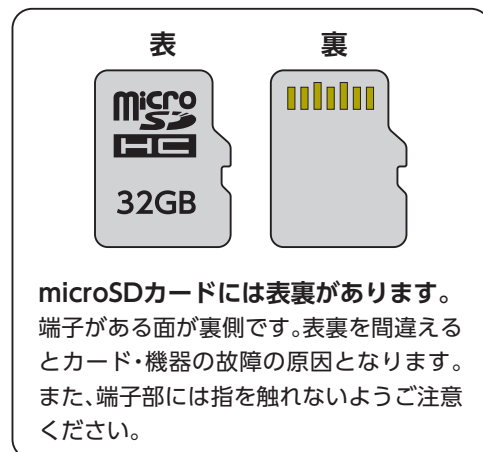
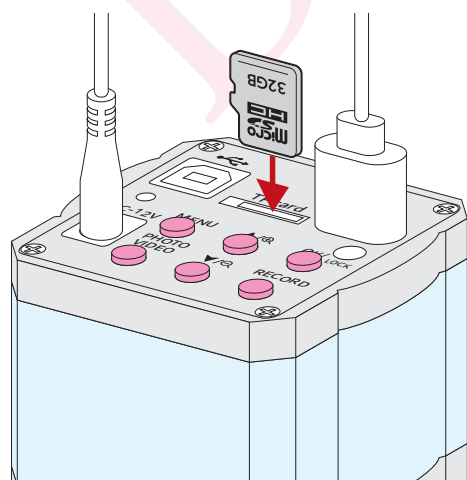
静止画や動画の記録を行う場合は、microSD (x)C カードをセットしてください。microSDカードは16～128GBまでの規格に対応しています。

●セット方法

カメラユニット前面方向にmicroSDカードの表面を向け、microSDカードスロット (TF card) に差し込みます。カチッと音がするまで押し込んで、指を離してもカードが出てこないことを確認してください。

●取り外し方法

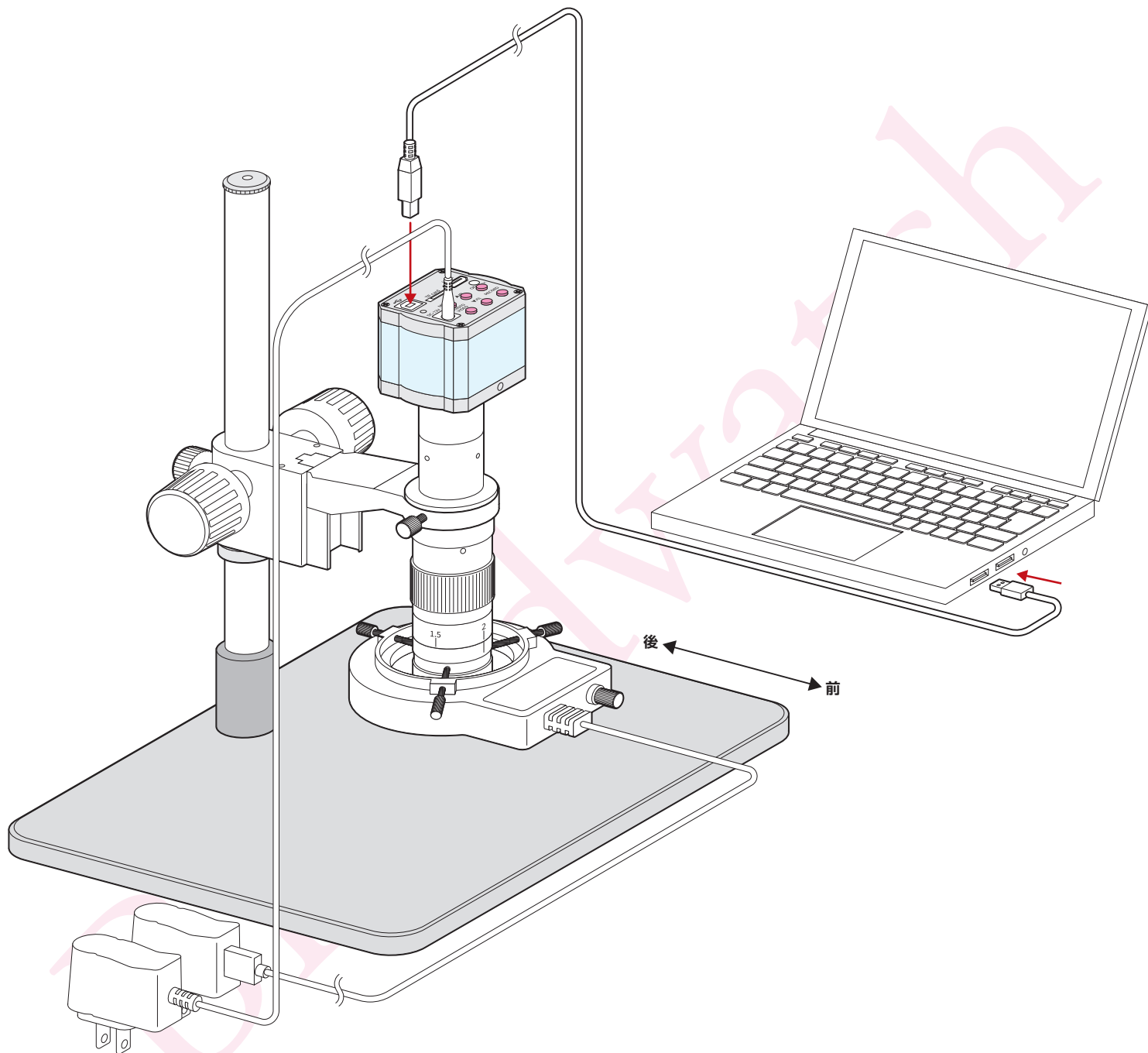
電源OFF時など、カードにアクセスがないことを確認してください。一回カードを軽く押し込み、カチッと音がしてから指を離します。カードが少し出てきますので、引き抜いてください。



5 PCとの接続方法

マイクروسコープをPCと接続し、専用ソフト「S-EYE」で寸法計測／静止画・動画の記録を行うことができます。
S-EYEについては別添の「S-EYE 操作説明書」を参照してください。

- ①PCでS-EYEをインストールします。
 - ②カメラユニットのUSB端子 (Type-B) と、PCのUSB端子を付属のUSBケーブル (TypeA-TypeB) で接続します。
- ※PCとLCDは同時に使用することができます。



6 マイクロ스코ープの起動と終了

●カメラユニット

電源アダプタをコンセントに差し込むと、自動的に電源がONになります。

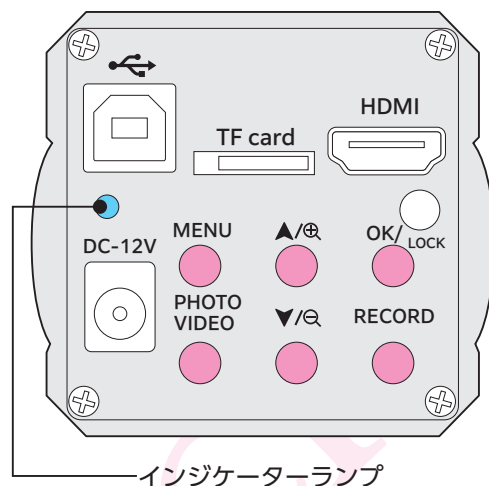
インジケータランプが赤点灯から青点灯に変わり、LCDにマイクロ스코ープの画面が表示されます。

電源をOFFにするには、microSDカードにアクセスがないことを確認し、電源アダプタをコンセントから外します。

※システムスタンバイについて

電源ON時(インジケータランプが青点灯の時)リモコンの **POWER** ボタンを押すと、システムはスタンバイ状態になり、LCDの表示が消え、インジケータランプが赤点灯になります。

システムスタンバイ中にもう一度 **POWER** ボタンを押すと、通常状態に復帰します。



●LCD

電源を接続し、電源をONにしてください。

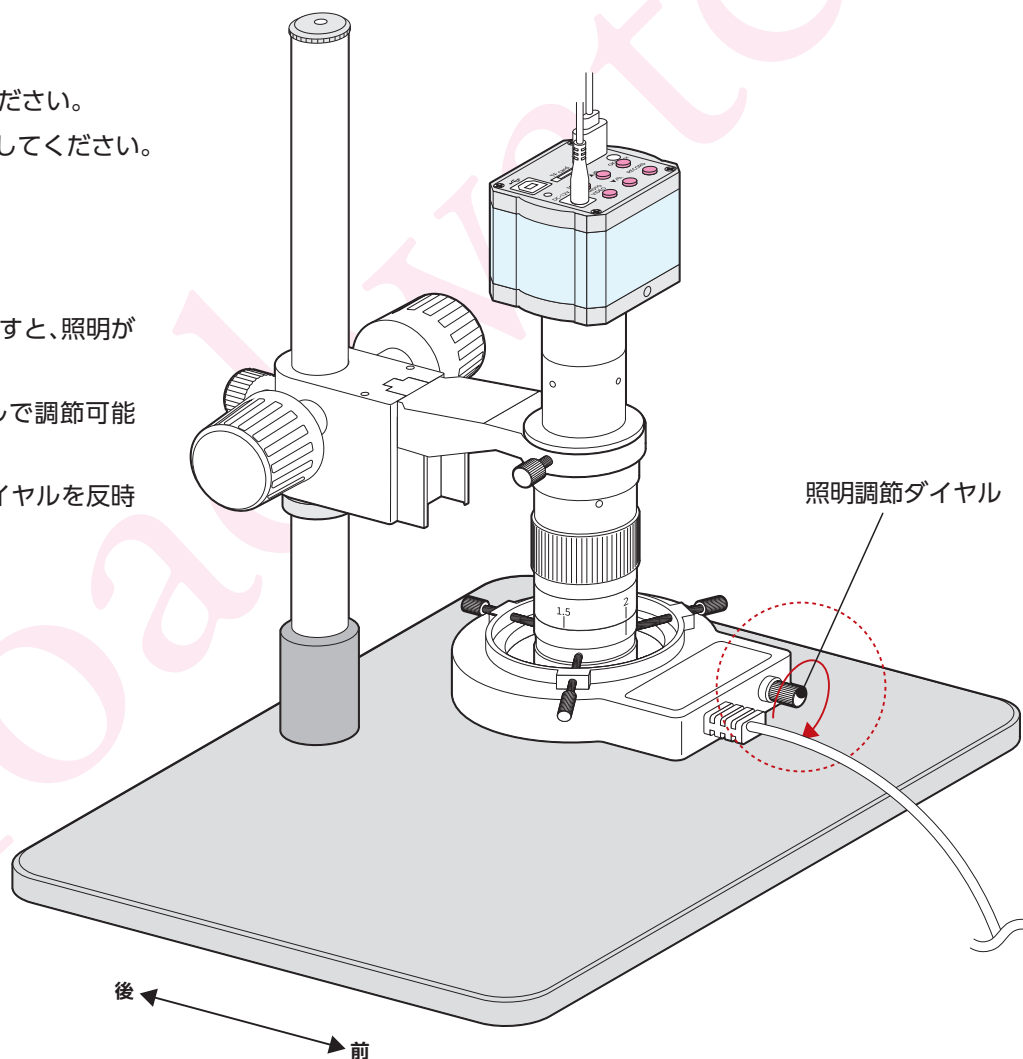
※詳細はLCDの取扱説明書を参照してください。

●照明

照明調節ダイヤルを時計回りに回すと、照明が点灯します。

照明の明るさは照明調節ダイヤルで調節可能です。

照明を消灯するには、照明調節ダイヤルを反時計回りに回し切ります。



●初期状態の設定について

最初に起動した際、また「デフォルト復帰」(☞ 17 ページ)を行った際に、システム言語が簡体中文、画面が360°回転、ホワイトバランスが適切でない状態になることがあります。その場合は、下記の設定変更を行ってください。

- ①システム言語を日本語にする。(初期状態で簡体中文表示になっていますが、設定画面下から4行目の項目が言語設定です)
(☞ 13 ページ)
- ②オートホワイトバランス(AWB)を一旦「色校正」にし、「オート」にする。(☞ 13 ページ)
- ③水平反転・垂直反転両方をOFFにする。(☞ 17 ページ)

7 倍率変更・ピントの操作方法

7-1.ピント調節

●ステージに観察物を置く

ステージの対物レンズの下に観察物を置きます。

ステージにライトが反射して見えにくくなる場合があります。その場合は**白いプラスチック板を敷いてください**。

観察物をLCDの画面で確認し、観察したい部分が中央に映るよう、位置を調整します。

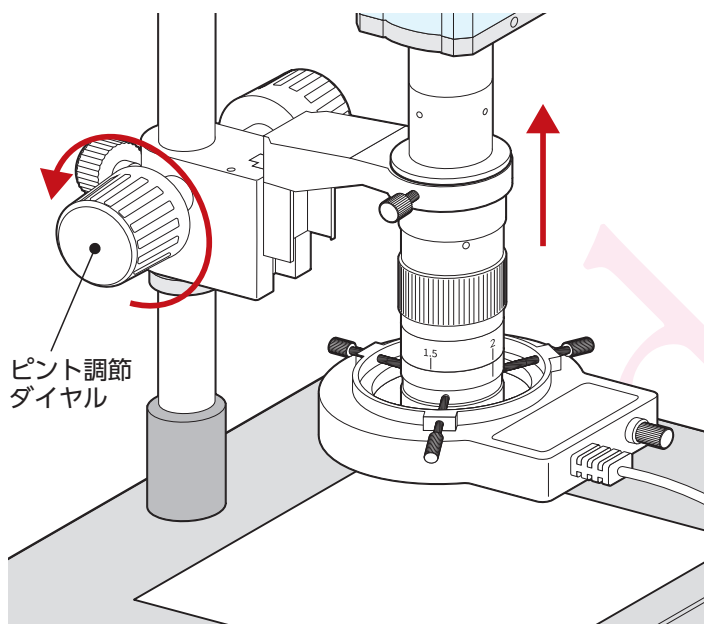
●ピント調節ダイヤルの操作

ピント調節ダイヤルを回転させると、対物レンズの高さを変えることでピントを調節することができます。

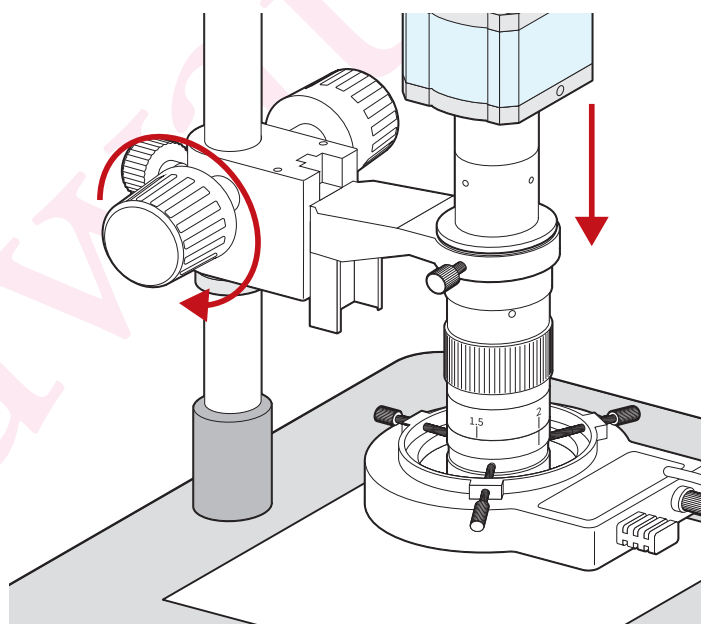
※倍率を変更してもピントが大きくずれることはありません。微調整を行ってください。

※観察物の高さがある場合は、ピント調節ダイヤルで対物レンズの高さを上げてください。ピント調節ダイヤルの調整範囲でもピントをあわせられない場合はホルダー自体の高さを変更してください。

対物レンズの高さを上げる



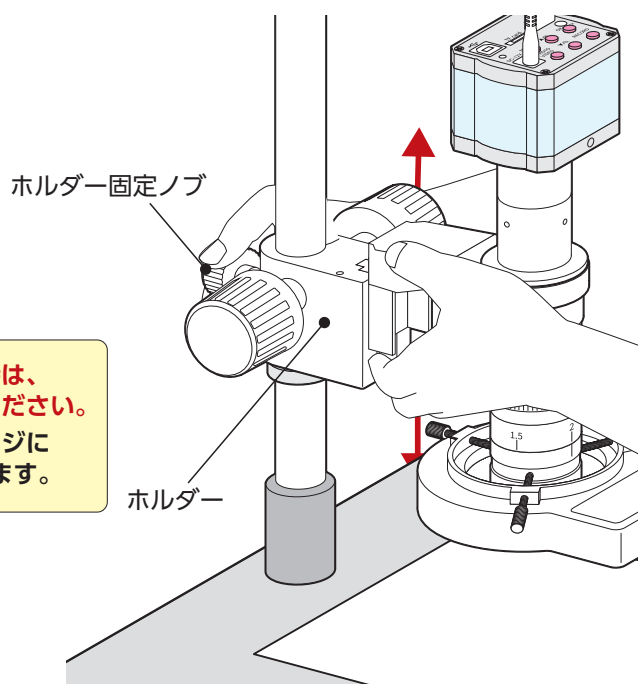
対物レンズの高さを下げる



●ホルダー自体の高さを調節する

数センチ以上ある観察物をステージに置く場合は、ホルダーの高さを適宜調節してください。

ホルダーの高さを変える場合は、必ず片手でホルダーをしっかりと持ち、もう片方の手でホルダー固定ノブを緩めます。高さを調節した後、ホルダー固定ノブをしっかりと締めてください。



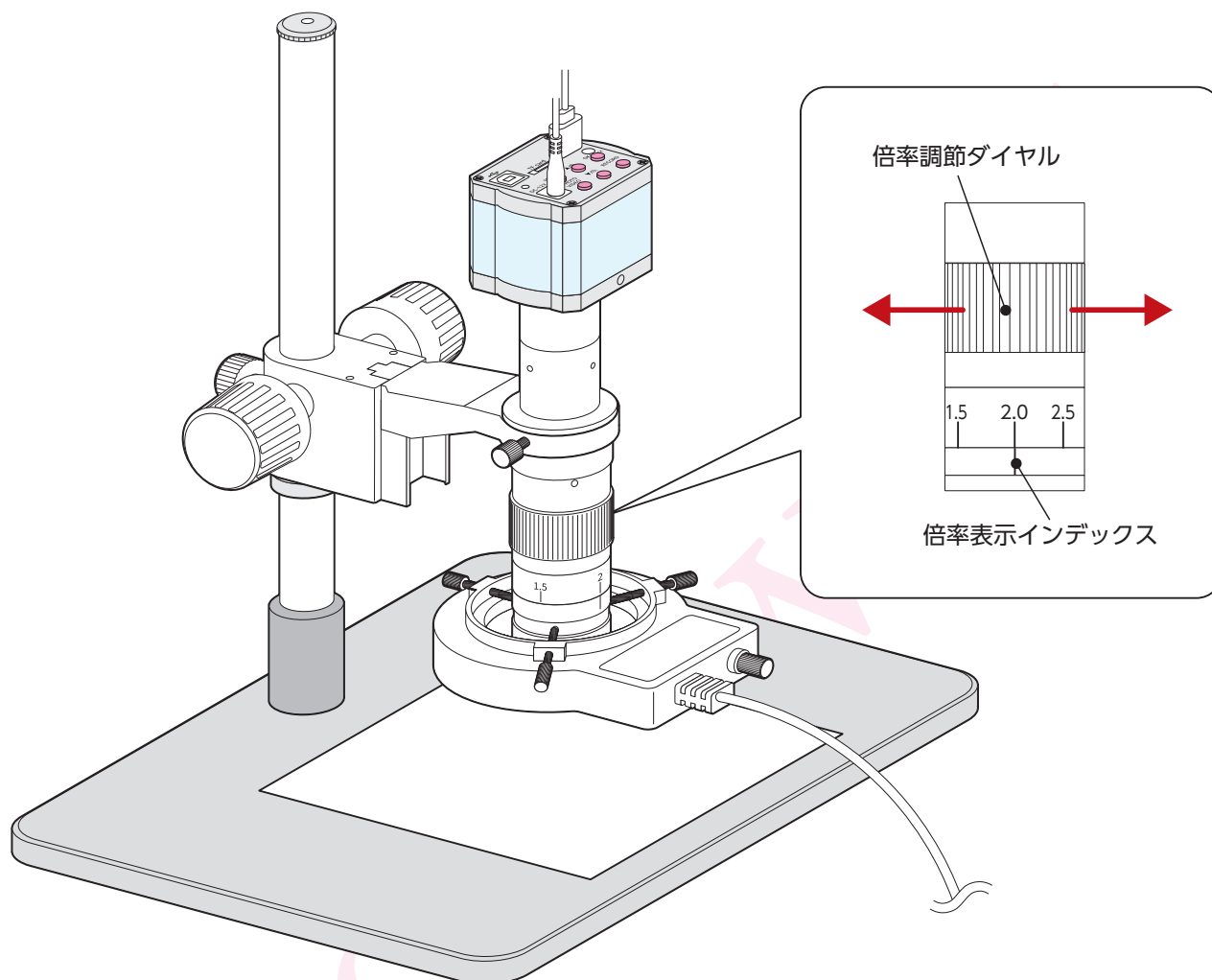
ホルダー固定ノブを緩める時は、必ずホルダーに手を添えてください。
対物レンズが観察物やステージに落下し、破損する危険があります。

7-2.倍率の変更(光学ズーム)

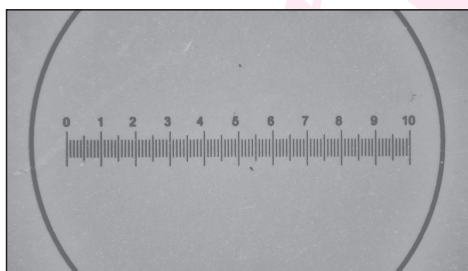
対物レンズの倍率調節ダイヤルを回転させると倍率を変更することができます。

倍率変更ダイヤルの上に倍率表示インデックス(白い線)があります。倍率の数字(0.7x~4.5x)を合わせると、その倍率で設定されます。

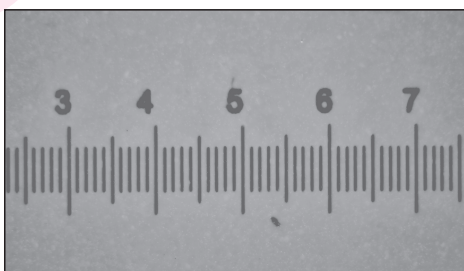
倍率を変更してもピントは基本的にずれません。ただし倍率を上げるほどピントの合う範囲(被写界深度)が小さくなりますので、ピント調節ダイヤルで微調整を行ってください。



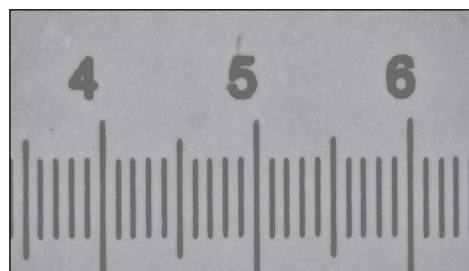
1.0X



2.5X



4.5X



※画像は静止画・動画で記録可能です。🔍 14 ページ

7-3.倍率の変更(デジタルズーム)

メニューバー非表示時、カメラユニットの ボタン、またはリモコンの ボタンを押すと、画像をデジタルズームさせることができます。倍率の範囲は1.0~4.0倍です。

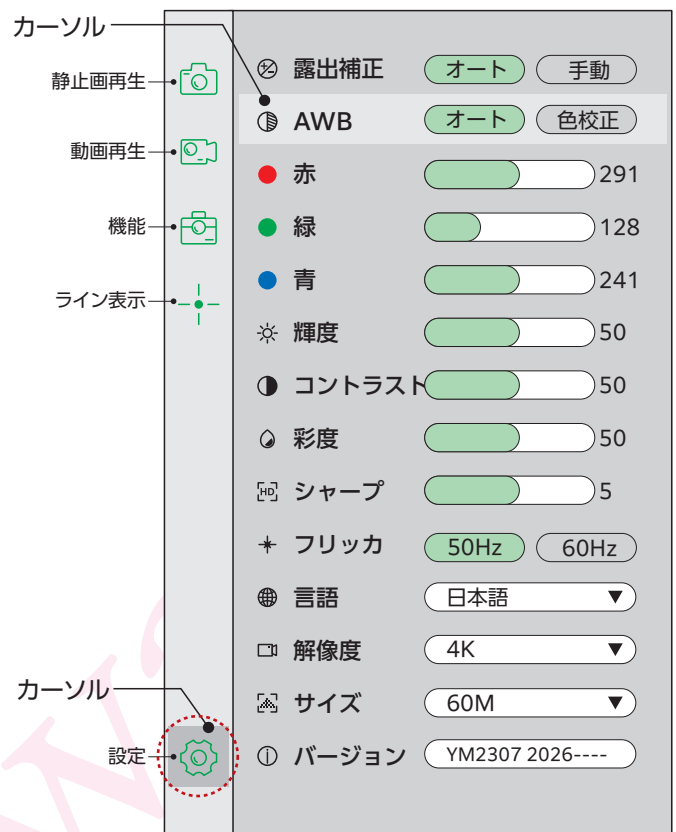
8 各種操作と設定

8-1.画質・システム言語・静止画/動画の解像度の設定

画像の調整・画面解像度の設定・静止画記録サイズの設定は、「設定画面」で行うことができます。

設定画面を表示・終了させるには下記の手順で操作を行ってください。

- ① **MENU** ボタン、またはリモコンの **MENU** ボタンか **設定** ボタンを押します。
- ② 画面の左端にメニューバーが表示されます。**▲/Ⓜ** **▼/Ⓜ** ボタン、またはリモコンの **↑** **↓** ボタンでメニューバーのカーソルが移動します。
「**設定**」アイコンにカーソルを合わせ、**OK/LOCK** ボタン、またはリモコンの **OK** ボタンを押します。
- ③ メニューバーの右側に設定画面が表示されます。
- ④ 設定変更したい各項目に **▲/Ⓜ** **▼/Ⓜ** ボタン、またはリモコンの **↑** **↓** ボタンでカーソルを合わせます。
設定値の変更は **PHOTO VIDEO** **RECORD** ボタン、またはリモコンの **←** **→** ボタンで行います。
- ⑤ 設定画面を終了するには、**MENU** ボタン、またはリモコンの **MENU** ボタンか **設定** ボタンを押します。もう一度押すとメニューバーを終了します。



●露出補正

露出補正を「オート」に設定すると、照明の明るさによって自動的に露光時間を調節します。通常は「オート」のままご使用ください。

●AWB(オートホワイトバランス)

AWBを「オート」に設定すると、自動で照明と観察物の色味に合わせて「白」を自然な色合いに補正します。
ホワイトバランスを手動で調整する場合は「色校正」をONにして、「赤」「緑」「青」の各数値を調整してください。

●輝度(明るさ)/コントラスト/彩度/シャープ

画面の明るさや色合いなどを調節します。

●フリッカ(電力周波数・画面のちらつき防止)

照明の点灯周期により、稀にカメラ画像にちらつきが感じられる場合があります。その場合は、50Hz/60Hzのいずれかに設定を変更してください。

●言語(システム表示言語)

システムの言語を選択します。日本語・ポルトガル語・イタリア語・スペイン語・ドイツ語・フランス語・英語・繁体中文・簡体中文・アラビア語・ロシア語から選択できます。

●解像度(動画記録の解像度)

本機で記録する動画の解像度を指定します。4K・1080P・720Pから選択できます。フレームレートは30fps固定です。

※動画解像度の変更は、「静止画モード (Photo mode)」中に行ってください。動画モード中に変更を行っても反映されません。



●サイズ(静止画記録サイズ)

本機で記録する静止画のサイズを指定します。60M・48M・38M・21M・16M・4K・1080P・720Pから選択できます。

●バージョン

システムのバージョンを表示しています。

8-2.静止画・動画の記録と再生

●microSDカードのセット

静止画・動画の記録にはmicroSDカードが必要です。microSDカードをカメラユニットにセットしてください。🔗 8 ページ

●記録モードの切り替え

本機には「静止画モード (Photo mode)」と「動画モード (rec mode)」があり、静止画や動画を記録する前にそれぞれのモードに切り替える必要があります。

メニューバーが非表示の状態、PHOTO VIDEO ボタン、またはリモコンの MODE ボタンか ← ボタンを押すと画面に「Switching to photo mode...」「Switching to rec mode...」と表示され、各モードに切り替わります。

●静止画の記録

静止画モード時に RECORD ボタン、またはリモコンの 📷 ボタンか → ボタンを押すと、セットしたmicroSDカードに静止画を記録します。

※記録する静止画の解像度設定は 🔗 13 ページ

●動画の記録

動画モード時に RECORD ボタン、またはリモコンの 📹 ボタンか → ボタンを押すと、セットしたmicroSDカードに動画の記録を開始します。もう一度同じボタンを押すと動画の記録が停止します。

※記録する動画の解像度設定は 🔗 13 ページ

●静止画・動画の再生

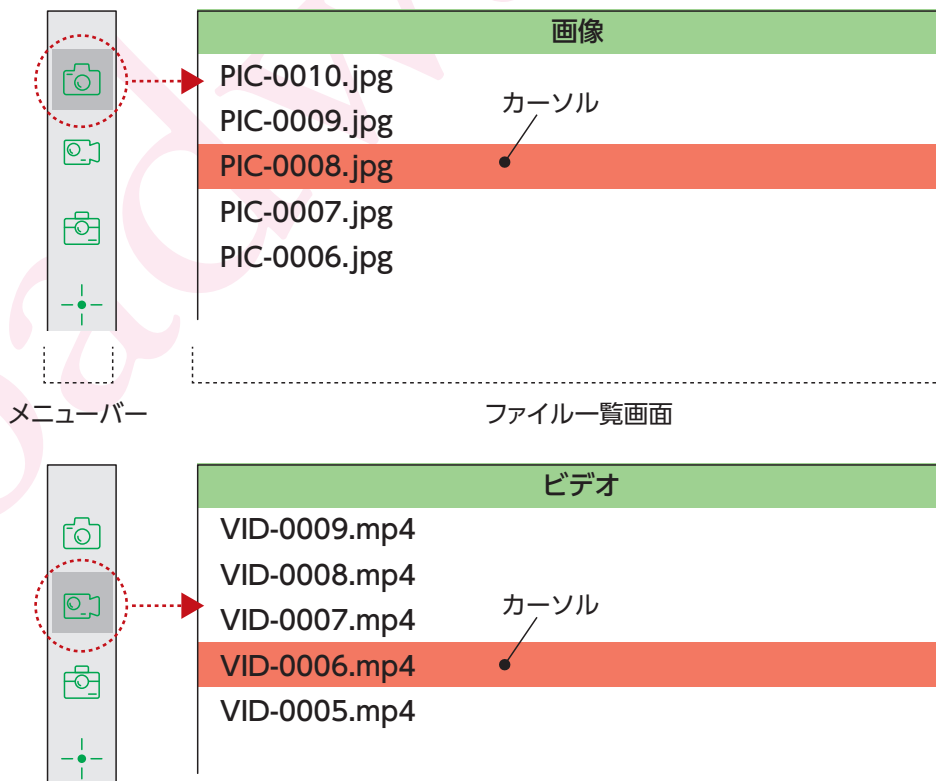
① MENU ボタン、またはリモコンの MENU ボタンか 📄 ボタンを押します。

②画面の左端にメニューバーが表示されます。▲/⊗、▼/⊗ ボタン、またはリモコンの ↑、↓ ボタンでメニューバーのカーソルが移動します。

「📷」アイコン (静止画)、または「📹」アイコン (動画) にカーソルを合わせ、OK/LOCK ボタン、またはリモコンの OK ボタンを押します。

③microSDカードに保存された静止画、または動画ファイルが一覧表示されます。▲/⊗、▼/⊗ ボタン、またはリモコンの ↑、↓ ボタンで再生したいファイル名にカーソルを合わせ、OK/LOCK ボタン、またはリモコンの OK ボタンを押します。ファイルが再生されます。

④ファイル再生を終了するには、MENU ボタン、またはリモコンの MENU ボタンか 📄 ボタンを押します。もう一度押すとファイル一覧画面を終了します。さらにもう一度押すとメニューバーを終了します。



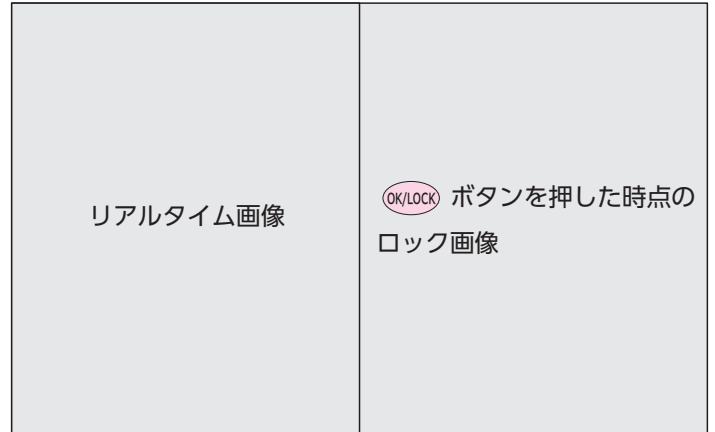
※microSDカードをPCにセットし、ファイルの再生やコピーなどを行うこともできます。ただし、タイムスタンプが正しくないため、PCにコピーする際はご注意ください。

※microSDカードに保存されたファイルを削除するには、フォーマットを行います。すべてのファイルが削除されます。大切なファイルはPCにコピーするなどしてバックアップを行ってください。🔗 17 ページ

8-3.画面のロック

画面をロック(静止)させ、二画面でリアルタイム画像と比較、または全画面でロック画像を表示することができます。

- ①メニューバーが非表示の状態で、**(OK/LOCK)** ボタン、またはリモコンの **[OK]** ボタンを押します。
画面の右半分がロックされます。(左半分はリアルタイム画像)
- ②もう一度 **(OK/LOCK)** ボタン、またはリモコンの **[OK]** ボタンを押すと、左側がロック画像、右側がリアルタイム画像になります。もう一度押すと全画面がロック画像になります。
- ③全画面ロック画像の状態でもう一度 **(OK/LOCK)** ボタン、またはリモコンの **[OK]** ボタンを押すと、全画面がリアルタイム画像の状態に戻ります。



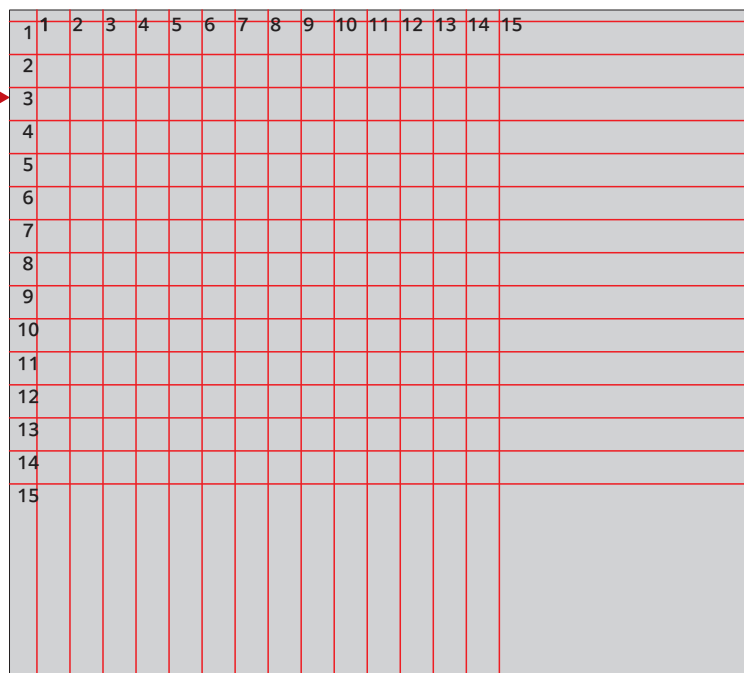
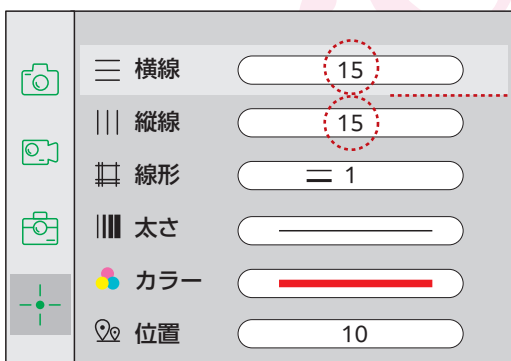
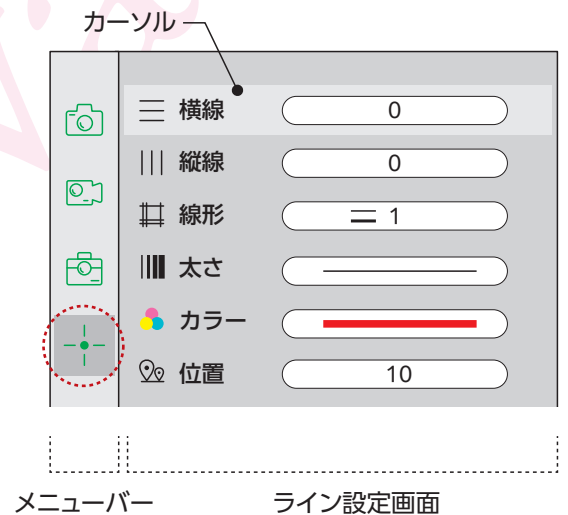
8-4.ラインの表示

画面上に水平ライン・垂直ラインを表示することができます。

ラインは、本数(縦横最大各15本)・太さ・色・位置を変更できます。

●ラインを表示するには

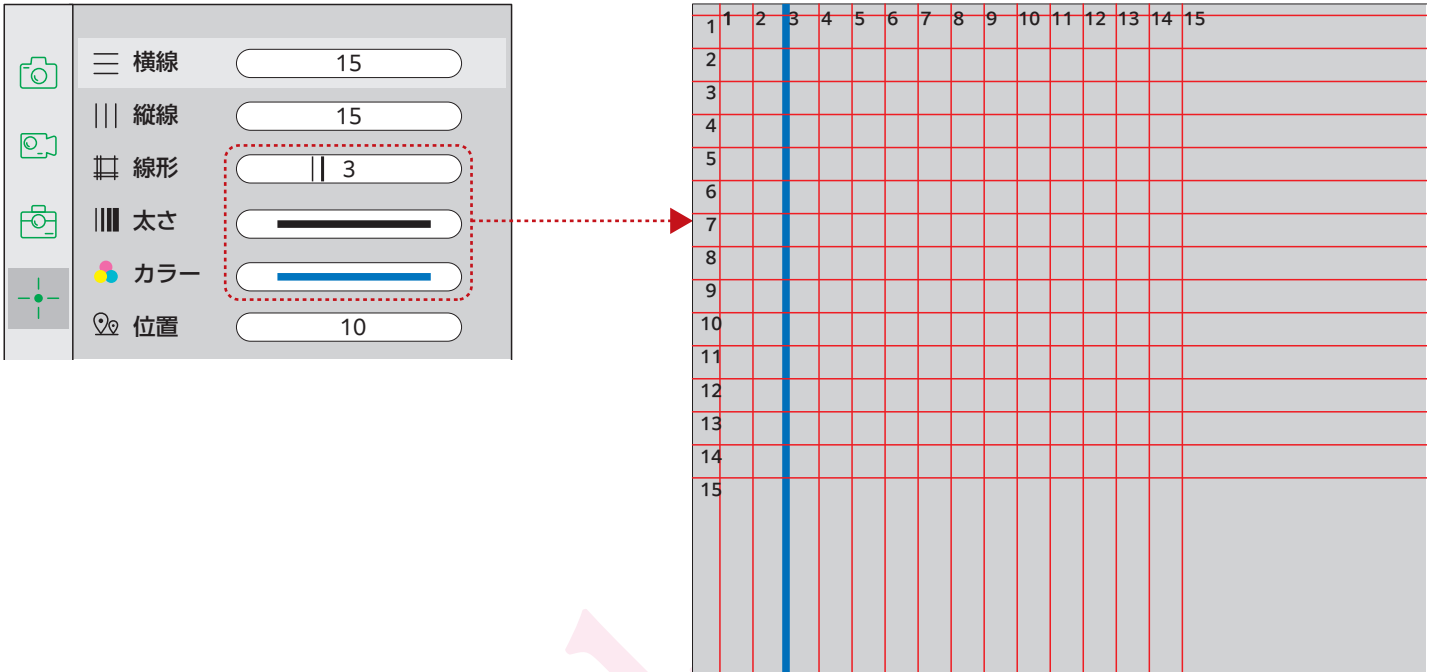
- ① **(MENU)** ボタン、またはリモコンの **[MENU]** ボタンか **[設定]** ボタンを押します。
- ②画面の左端にメニューバーが表示されます。**(上/下)** ボタン、またはリモコンの **[↑]** **[↓]** ボタンでメニューバーのカーソルが移動します。
「**[カーソル]**」アイコンにカーソルを合わせ、**(OK/LOCK)** ボタン、またはリモコンの **[OK]** ボタンを押します。ライン設定画面が表示されます。
- ③ **(上/下)** ボタン、またはリモコンの **[↑]** **[↓]** ボタンで「横線」または「縦線」にカーソルを合わせます。
(PHOTO VIDEO RECORD) ボタン、またはリモコンの **[←]** **[→]** ボタンを押すと数値が変更され、画面にラインが表示されます。(0にするとラインは非表示になります)



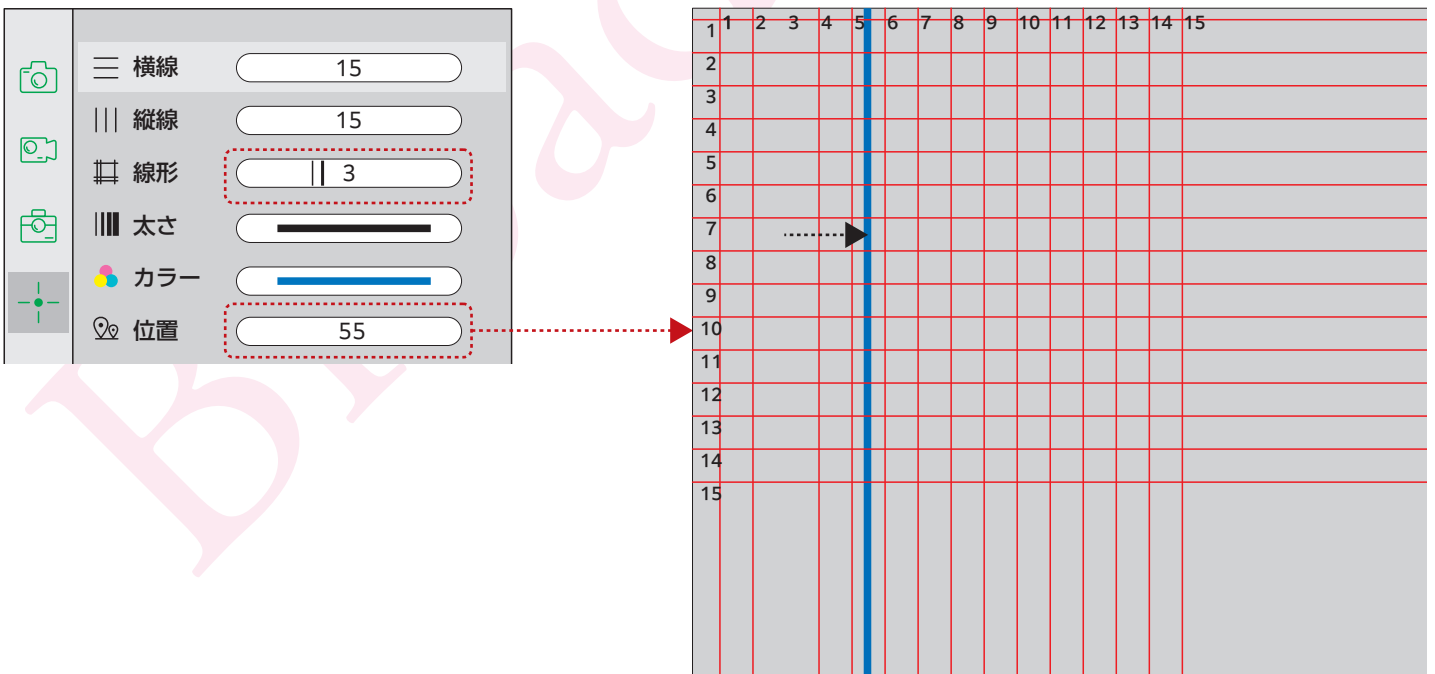
●ラインの太さ・カラー・位置を変更するには

ラインの属性変更は一本ずつ、番号を指定して行います。

- ①ライン設定画面が表示されている状態で、 ボタン、またはリモコンの ボタンでカーソルを「線形」に合わせます。
- ② ボタン、またはリモコンの ボタンで、属性変更したいラインの番号を選択します。「=」は横ライン、「||」は縦ラインを表します。
(例:「|| 3」は縦ラインの3番を指定しています。)
- ③「太さ」「カラー」にカーソルを合わせ、 ボタン、またはリモコンの ボタンで太さ、カラーを変更します。



- ④ラインの表示位置を移動させるには、「位置」にカーソルを合わせ、 ボタン、またはリモコンの ボタンを押し、数値を変更します。



- ⑤ライン設定を終了するには、 ボタン、またはリモコンの ボタンか ボタンを押します。もう一度押すとメニューバーを終了します。

8-5.その他の機能

画面の反転、白黒表示、microSDカードのフォーマットなどの操作を行うことができます。

- ① **MENU** ボタン、またはリモコンの **MENU** ボタンか **グリッド** ボタンを押します。
- ② 画面の左端にメニューバーが表示されます。**▲/Ⓜ** **▼/Ⓜ** ボタン、またはリモコンの **↑** **↓** ボタンでメニューバーのカーソルが移動します。
「**カメラ**」アイコンにカーソルを合わせ、**OK/LOCK** ボタン、またはリモコンの **OK** ボタンを押します。

- ③ メニューバーの右側に機能画面が表示されます。
▲/Ⓜ **▼/Ⓜ** ボタン、またはリモコンの **↑** **↓** ボタンでカーソルを各機能の行に移動させ、**OK/LOCK** ボタン、またはリモコンの **OK** ボタンを押すと、その機能が有効になります。水平反転・垂直反転・十字の線、白黒は、有効状態のときに **OK/LOCK** ボタン、またはリモコンの **OK** ボタンを押すと解除されます。

●拡大・縮小

デジタルズームです。メニューバー非表示の時に **▲/Ⓜ** **▼/Ⓜ** ボタン、またはリモコンの **↑** **↓** ボタンを押した時と同じ機能です。📄12ページ

●水平反転・垂直反転

画面を水平・垂直に反転します。両方を有効にすると180°回転します。

●十字の線

画面に十字のラインを表示します。

●白黒

画面をモノクロ表示にします。

●画面ロック

メニューバー非表示の時に **OK/LOCK** ボタン、またはリモコンの **OK** ボタンを押した時と同じ機能です。📄15ページ

●フォーマット

カメラユニットにセットしたmicroSDカードをフォーマットします。保存されたファイルはすべて削除されます。大切なファイルはPCにコピーするなどしてバックアップを行ってください。

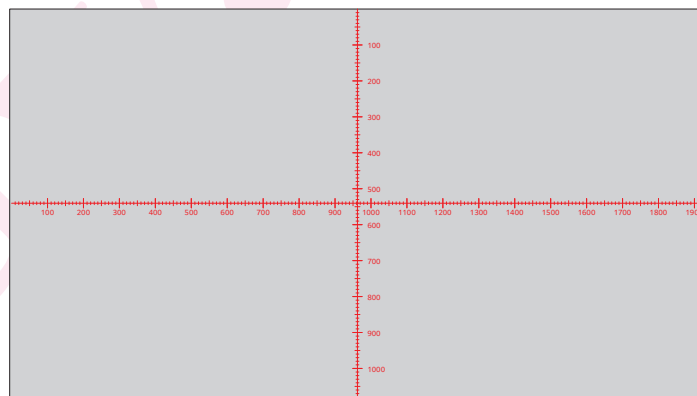
●デフォルト復帰

本機の各種設定を工場出荷時の状態に戻します。(microSDカードに保存されたファイルは削除されません。)

※デフォルト復帰後はシステム言語が簡体中文、画面が360°回転、ホワイトバランスが適切でない状態になることがあります。その場合は、設定変更を行ってください。📄10ページ



メニューバー 機能画面



十字の線 表示時

8-6.オプションレンズ

別売りで、標準品と倍率の異なる対物レンズをご用意しております。

- ・MICRO-LENS-25-164 (27インチLCD換算倍率:25~164倍)
- ・MICRO-LENS-73-468 (27インチLCD換算倍率:73~468倍)

9 お手入れ方法

●お手入れの前の注意

お手入れを行う際は、必ず各ケーブル類を外してください。必要な場合は対物レンズ・カメラユニットをホルダーから外してください。感電や故障の原因となります。

●ステージ・支柱・ホルダーのお手入れ方法

乾いた柔らかい布で、表面のほこりや汚れを軽く拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞ってから汚れを拭き取ります。その後、乾いた布で水気を完全に拭き取ってください。

※シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤や、化学ぞうきんは使用しないでください。表面の変色や、塗装がはがれる原因となります。

●対物レンズのお手入れ方法

市販のカメラ用ブロアーを使用し、レンズ表面のほこりやゴミを吹き飛ばしてください。息を吹きかけると唾液が付着するおそれがあるため避けてください。

指紋や油汚れが付着してしまった場合、市販のマイクロファイバーなどの柔らかい布か、カメラレンズ専用のクリーニングペーパーとクリーニング液を使って、レンズを傷つけないよう優しく汚れを拭き取ってください。

※レンズのガラス面には直接指で触れないでください。また、ティッシュペーパーや粗い布で強くこすると、レンズに傷がつく原因となります。

●カメラユニットのお手入れ方法

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。センサー部分に万一ほこりが付着した場合は、市販のカメラ用ブロアーで慎重に吹き飛ばしてください。

※カメラユニット内部には精密なセンサーが内蔵されています。水滴や異物が内部に入らないよう十分にご注意ください。また、端子部分にほこりが溜まった場合は、綿棒などで優しく取り除いてください。

●照明のお手入れ方法

LEDライトの発光面に汚れが付着すると、光量低下や画像への映り込みの原因となります。乾いた柔らかい布で、表面を傷つけないよう優しく拭き取ってください。

※発光部やカバーを強く押したり、叩いたりしないでください。破損や故障の原因となります。また、長時間の使用直後は熱を持っている場合があるため、熱が冷めてからお手入れを行ってください。

●本製品を廃棄する場合

お住いの自治体のルールに従い、適切に処分してください。(本製品にバッテリーは内蔵されていません。)

症状	考えられる原因と対策
●画像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ○対物レンズの下部のキャップがついたままになっていないか確認してください。 ○カメラユニットのインジケータランプが点灯していない場合、電源の接続を確認してください。🔗 8 ページ ○カメラユニットのインジケータランプが赤点灯のままの場合、リモコンの POWER ボタンをカメラユニットの上面に向けて操作してください。それでも改善しない場合、一度電源を外し、数分放置後に再度電源を接続してください。 ○カメラユニットのインジケータランプが青点灯の場合、各ケーブルが正しく接続されているか確認してください。🔗 8 ページ ○別のLCDがある場合、接続しなおして画像が映るか確認してください。LCDにより、本製品に対応していない場合があります。 ○付属以外のUSBケーブル、HDMIケーブル、電源アダプタを使用した場合、正常に動作しない場合があります。付属のケーブル、電源アダプタを使用してください。
●リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ○カメラユニットのリモコン受光部にリモコンを向けて操作してください。 ○リモコンの電池が消耗している可能性があります。その場合は電池を交換してください。🔗 4 ページ
●静止画・動画が記録できない	<ul style="list-style-type: none"> ○記録する前に、静止画モード・動画モードに切り替える必要があります。🔗 14 ページ ○microSDカードが必要です。正しくセットされているか確認してください。🔗 8 ページ ○microSDカードに不具合が生じている場合は本機、またはPCでフォーマットを行ってください。🔗 17 ページ
●画像が暗い／色がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ○照明の明るさ、カメラユニットの輝度やホワイトバランスなどの設定を確認してください。🔗 13 ページ ○カメラユニットの操作で改善しない場合、LCD側の画質設定を確認してください。(LCDに画質調整機能がある場合)

その他ご不明な点がございましたら、弊社、サポートセンターまで、お気軽にお問合せください。

本書の内容の無断転載、文章やイラストの無断転用を禁じます。

©2026 株式会社ブロードウォッチ

製品保証書

マイクロスコープ

型番: MICRO-SC-4K

お買い上げ日

販売店名

※お買い上げ時のレシートも一緒に保管してください。

ご購入日が記載された書類(レシート、領収書、納品書、保証書、メール等)のいずれかを必ず保管してください。

製品保証を受ける際に必要になります。

保証規定についてはブロードウォッチのホームページをご確認ください。

保証期間 お買い上げ日より1年間

メール
support@broadwatch.jp

ホームページ
https://www.broadwatch.jp/



株式会社ブロードウォッチ

堺センター
〒590-0961 大阪府堺市堺区寺地町西3丁1-7